

親鸞聖人750回大遠忌 お待ち受け 近畿大会

～大阪城ホールに響く9200人の念仏の声～



発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 杉本正信

3月4日に大阪城ホールにおいて、親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け近畿大会が行われた。当日は雨模様の中、近畿各地より9千2百人が参加した(和歌山教区からは666人)。

式典では、ご門主様ご臨席のもと、「宗祖讃仰作法 音楽法要」が勤められた。式典の最後には、ご門主様よりお言葉をいただき、また、橘正信総長からあいさつがあった。

引き続き記念法話があった。講師は、京都女子大学名誉教授で本願寺派勸学寮員の徳永道雄師。講題は「ありがとう」。京都女子大学での学生との交流や、仏典の英語翻訳の経験からの法話だった。「ありがとう」の言葉を通して、仏教文化に培われた日本語の奥深さ、すばらしさ、また、阿弥陀仏に救われている私たちの姿などを話された。

その後の記念アトラクションでは、由紀さおり・安田祥子メモリアルコンサートが行われた。前半のテーマは「ふるさと」。皆懐かしく聞き、時には一緒に歌った。最後には、参加者一同での恩徳讃の大合唱で締めくくった。

大遠忌を来年にひかえ、法要本番に向けて大いに機運の高まる大会となった。

鷺森テレホン

紙上法話

菅原吉人

(和歌山教区 本願寺派布教使)

「十方微塵世界の念仏の衆生をみそなわし 撰取してすてざれば 阿弥陀となづけたてまつる」いまいただきましたご文は、『浄土和讃』の一首です。この中、「撰取してすてざれば」のお言葉について、味わいたいと思います。阿弥陀さまの撰取不捨（おさめとつて捨てず）とは、どのようなことでしょうか。

昨年の秋、実家の母から電話がありました。中学3年生の時の担任の先生を覚えているか？と言うものでした。30年前のことです。しばらく記憶をたぐり寄せて、思い出しました。男性の体育教師で、

よく体育教官室に呼び出されては叱られたこと。乱闘事件に巻き込まれて、警察から身を張って守ってくださったこと。愛情をもって叱ってくれたことなど記憶が甦ってきました。

その先生が、突然に訪ねてこられたのです。よくよく聞くと、定年退職されて、実家の前にある幼稚園に再就職さ

「撰取不捨のこころ」

れたとのことでした。母は、「先生が、あなたのことを色々訊ねられて、今どうしているのか。元気にしているか。えらく心配してくださっていたから、一度電話したら」と電話番号を教えてくださいました。2日後、電話をすると私の声を聞くなり、「おー、ヨシト、元気やったか！」と大きく元気な先生の声が、私の鼓膜を揺らしました。近況を話し、年末に2人で忘年会をする約

束をして電話をきりました。私はしばらく、何とも言えない安堵感と喜びの余韻に浸っておりました。30年間すっかり忘れていた私に対し、先生は、私のことを名指しで忘れずに覚えていてくださった。長い教師生活の中で、おそろく何千人という教え子がいるにもかかわらず。年末にお会いした時、先生は、「私は、教

え子の顔と名前をできるだけ忘れないように心がけてきた」と教えてくださいました。

私どもは、世間のことに心を奪われ、阿弥陀さまのことをほとんど忘れて生活しています。しかし、ふとお念仏するところに、私がつかり忘れていても、決して忘れはしない阿弥陀さまがいてくださる安堵感と喜びが湧きあがってきます。「撰取不捨」とは、たとえあなたが忘れていても、名指しでひと時も忘れずにいる弥陀が、あなたの身のなかに入り満ちていることを告げるお言葉だったのです。

鷺森テレホン 法話

24時間いつでもどこからでも

3分間法話が聞けます。

073-422-0243

おにしさん

和歌山組 親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要 巖修

僧侶・門信徒一丸となり 宗祖讃仰作法・音楽法要勤まる

和歌山組 組長 島 和夫

去る2月11日、和歌山市民会館の市民ホールにおきまして、和歌山組お待ち受け法要が巖修されました。

当日、雨にもかかわらず組内割当301人に対して352人もの方々が参拝。会場は満席となりました。今回、初めての試みとして、寺院の本堂ではなく、収容人数の多い市民ホールで開催しました。また、法要・法話の他、体操、コンサートなど、行事内容も充実し



たものとすることができました。開会式では、杉本正信教務所長より橋総長からの祝辞をご披露していただき、ご挨拶をいただきました。

法要は、このたび本山にて制定された宗祖讃仰作法（音楽法要）をお勤めしました。出勤法中・楽人・コーラス・エレクトーンの合奏で感動的なものとなりました。この日のためにスタッフには数十時間かけて練習をしていただきました。おかげで、会場全体がひと



会場全体が法悦につつまれる

つになり、念仏の音が大きく会場に響きわたりました。



法話は熊沐焔常法寺住職、佐々木高彰師の節談説教。味わい深く響くその声に、会場全体に法悦の涙が流れました。

法話の後は、鷺森幼稚園の体育講師の垣内直直さんのリラククス体操。会場が笑い声に包まれ、参加者が幼稚園児のように若返りました。

つづいてトンペイさんのコンサート。現在、県内を中心に活動され、多くのファンの後押しで「紅白に送り出す会」も結成されてい

ます。トークで笑い、歌で泣かされ、最後は九ちゃん「見上げてごらん夜の星を」の大合唱で終わりました。



そして、親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ旧跡めぐり。和歌山放送の津山理美さんのナレーションのせてスクリーンに映し出された映像をご覧いただきました。

閉会式は組長の挨拶の後、恩徳讃、そして音楽法要で用いた念仏12句を全員で称え法要を終えました。

来年、親鸞聖人750回大遠忌をお迎えするにあたり、和歌山組の僧侶も門信徒も心がひとつになった法要でありました。

念仏の音が聞こえなくなったと言われるこの頃ですが、帰りを急ぐお同行が、念仏を称えながら歩いていたら聞き、大変なものも嬉しく思ったことでした。

*****教区だより*****

<p>2010年 4月</p> <p>3日 勤式講習会 (鷺森別院)</p> <p>6日 寺婦委員会</p> <p>12日 同宗連役員会・委員会</p> <p>17日 勤式講習会 (日高別院)</p> <p>18日 海南組・日高組・紀南組お持ち受け法要 仏婦総連盟総会 (本山/～19日)</p> <p>20日 基推委総会</p> <p>22日 少年連盟総会</p> <p>24日 仏壯連盟理事会</p> <p>26日 門総新旧合同委員会 教区相談員中央研修会 (西山別院/～27日)</p> <p>27日 寺婦仏華講習会 (日高別院)</p>	<p>5月</p> <p>1日 加茂組お持ち受け法要 勤式講習会 (鷺森別院)</p> <p>8日 近畿保育連盟補任式</p> <p>12日 全国門徒総代会お持ち受け大会 (本山)</p> <p>15日 勤式講習会 (日高別院)</p> <p>17日 専従員研修会 (西山別院/～18日)</p>
	<p>6月</p> <p>5日 有田北組お持ち受け法要 勤式講習会 (鷺森別院)</p> <p>12日 和歌山西組お持ち受け法要</p> <p>18日 伊那組お持ち受け法要 勤式講習会 (日高別院)</p> <p>29日 全少年教化アドバイザー協議会 (本山/～30日)</p>

別院だより

鷺森別院

【常例法座】毎月15・16日 午後1時30分

4月15日 足利礼子師 (四州教区)

16日 田口敏明師 (和歌山教区)

6月15日 花岡静人師 (奈良教区)

16日 岩崎法明師 (和歌山教区)

【二尊会】

5月13日～16日

午後1時30分

13日・14日

野瀬善隆師 (滋賀教区)

15日・16日

宇野哲哉師 (滋賀教区)

【降誕会】

5月20日 午前10時

杉本正信 (鷺森別院輪番)

【総永代経】

6月13日 午後1時30分

日高別院

【常例法座】毎月20日 午後1時30分

4月 足利礼子師 (四州教区)

【降誕会・花まつり・湯川忌】

5月9日 午後1時30分

【永代経】

6月20日 花岡静人師 (奈良教区)

勤式講習会のご案内

勤式講習会が4月より毎月(8月、1月を除く)第1土曜(鷺森別院)、第3土曜(日高別院)に開催される。詳細については、後日案内される。

「キッズサンガをすすめるための研修会」開催

去る2月18日に和歌山教区少年連盟、キッズサンガをすすめる会共催にて研修会が開催され、教区内より20人が参加。子どもたちと時間を過ごすための「レクリエーション」、特に「ものづくり」を紹介、実際に参加者が制作した作品は次の5点。

- ①さそりの標本②新聞座布団③サイコロ④マグカップ⑤スポンジケーキ。

なお、当日製作した資料等、必要な方がいらっしゃいましたら教務所までお問い合わせください。

「偈文を学ぶ」重誓偈」開催

去る2月20日に寺族青年連盟、仏教青年連盟共催で、森田真円先生を講師に教学研修会が開催された。次回も同講師にて「讚佛偈」を学ぶ予定。

和歌山北組モデル事業開催

去る2月28日に和歌山北組が担当となり、今年度門徒総代会モデル事業が開催された。会場の浄永寺(山本法道住職)には組内の門徒総代をはじめ各組の役員など約80人が参集。

また、現状報告後の全体協議会では、参加者全員で活発な意見交換が行われた。

訂正のご連絡

本願寺より発刊されました寺院住所録に次のように訂正がありましたので、ご連絡いたします。

和歌山北組慶圓寺

FAX

(073) 451・6078に訂正

和歌山北組正業寺

TEL/FAX

(073) 455・0887を抹消

連絡先住所

岩出市根来2091に訂正

得度

杉山美和 和歌山北組 永正寺
 荻野裕和 海南組 浄国寺

逝去

前田千策 和歌山北組 正恩寺
 前任職 平成21年12月25日
 川崎綾子 海南組 正教寺
 坊守 平成22年1月9日
 津村弘子 海草組 永光寺
 坊守 平成22年2月4日
 長谷川義一 海草組 報徳寺
 前任職 平成22年2月28日

ご生前のご苦勞を偲び、謹んで敬申の意を表します。